



台北駐日經濟文化代表處

代表 馮 寄台

今や日本に広く普及され、多くの人々が健康法や護身術として愛好し、修練を積んでいる太極拳は、台湾でも大変流行しております。

この技を初めて正式に日本に伝えたのは、中華民国(台湾)の文化使節として1959 年に来日しました故・王樹金先生であります。ご存知のように、故・王樹金先生は、世界に誇る中国武術の大家であります。故・王先生は、50 年前に日本人武道家達に、中国武術の圧倒的な強さ、素晴らしさを示され、中華民国の名を大いに高められました。そして、王先生の日本の継承者である地曳秀峰会長は、今日まで王先生の中国武術の種々の技を日本において大いに伝授していらっしゃいます。ここに改めて、地曳会長ならびに全日本柔拳連盟の関係者の皆様に衷心より敬意を表しますとともに感謝を致します。

また今年も中国柔拳演武大会を開催されていますことを誠に嬉しく思い、祝福いたします。

現在、台日双方は共通の価値観を持ち、経済貿易をはじめ各方面においても、きわめて密接かつ友好的であります。わが国の馬總統は対日関係を重視していると共に、当代表処が今年5月にニールセン社に委託して行った意識調査によると、日本人の 91.2%が「日台関係は良好である」、84.2%が「台湾を信頼している」と考えており、日台の各方面の交流は非常に頻繁になって居ります。これもひとえに皆様のご尽力の賜物と確信し、台北駐日代表処を代表いたしまして、こころより厚くお礼申し上げます。

最後に、貴全日本柔拳連盟の益々のご発展を祈念いたしまして、私のご祝福とさせていただきます。

2011年10月30日